

のたじ



市議会だより



かぶと虫列車

6月定例会(6.3~6.24)を開催

ページ

- ② 5月臨時会
- ③ 議会報告会
- ④ 市議会の新体制が決まりました
- ⑥ 6月定例会提出議案、委員会審議
- ⑦ 討論・議決結果
- ⑧ 陳情の審議結果・議決結果
- ⑨ 一般質問
- ⑩ 市議会トピックス、9月定例会の審議日程

No.136

2013.8

兵庫県加西市議会

題字 三宅羅山 書

5月臨時会（5月17日）

提出された主な議案

○議案第31号 泉中学校校舎耐震補強工事請負契約の締結について

泉中学校校舎は、昭和39年に建設され、老朽化が進んでおり、耐震診断の結果、構造耐震指標（Is値）が基準値に達していないため、耐震補強工事によりIs値を改善し、同時に美装化、設備機器機能の向上を目的とした改修工事を行うことで、安全・安心な教育施設を整備する。

工事請負契約金額：10億6,785万円（税込） 工期：平成26年3月25日まで

○議案第32号 善防中学校北校舎耐震補強工事請負契約の締結について

善防中学校北校舎は、昭和49年に建設され、老朽化が進んでおり、耐震診断の結果、構造耐震指標（Is値）が基準値に達していないため、耐震補強工事によりIs値を改善し、同時に美装化、設備機器機能の向上を目的とした改修工事を行うことで、安全・安心な教育施設を整備する。

工事請負契約金額：3億4,020万円（税込） 工期：平成26年1月31日まで

○議案第33号（仮称）加西市立北条学校給食センター建設工事請負契約の締結について

現在給食未実施校である北条中学校、善防中学校、泉中学校への給食配送を行い、中学校給食の完全実施を行う。また昭和36年から55年に建設された単独調理場5施設を新学校給食センターに統合することで、効率的、経済的な給食施設の運営を図る。

工事請負契約金額：3億9,375万円（税込） 工期：平成25年12月20日まで

第246回 加西市臨時会議決結果一覧 平成25年5月17日（金）

■全会一致で可決、同意、承認した議案

- 報告第2号 専決処分したものにつき承認を求めることについて（加西市国民健康保険税条例の一部改正）
 議案第32号 善防中学校北校舎耐震補強工事請負契約の締結について
 議案第33号（仮称）加西市立北条学校給食センター建設工事請負契約の締結について

■賛否の分かれた議案（採決の行われた順に掲載）

○…賛成 ×…反対

議案	松尾幸宏	植田通孝	深田真史	中右憲利	長田謙一	衣笠利則	高橋佐代子	別府直	黒田秀一	井上芳弘	森元清蔵	三宅利弘	織部徹	森田博美	土本昌幸	議決結果
報告第3号 専決処分したものにつき承認を 求めることについて（平成25年度加 西市一般会計補正予算（第1号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長	○	原案承認 （賛13、反1）
議案第31号 泉中学校校舎耐震補強工事請負 契約の締結について	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長	○	原案可決 （賛10、反4）

議会報告会を開催しました

3月定例会の議会報告会を開催しました。4会場で延べ123名のご参加をいただきました。

【第1部】3月議会の報告 【第2部】意見交換（若者が住みたい地域づくり）

開催年月日	場 所	参加者数
平成25年5月10日（金）	コミセン小ホール	26
平成25年5月11日（土）	善防公民館	12
平成25年5月14日（火）	南部公民館	31
平成25年5月17日（金）	北部公民館	54



南部公民館（5月14日）

■いただいた意見と回答、要望（アンケート含む）

【3月議会の議案について】

- 請願の議長裁決について、今回は現状を維持するという形をとったが、議案によっては議長が賛成をしても反対をしてもよいのか。
- 本会議において賛否同数の場合は議長の判断で決まる。議会運営規則の中に現状維持の原則があり、今回はその原則に従った。

【意見交換のテーマ「若者が住みたい地域づくり」について】

- 加西市はまだまだ周辺自治体に比べて公共料金や生活費が高い。施策は色々つくっているがまだまだ不足している。新婚世帯の家賃補助にしても3年では短すぎる。
- 加西市は公共料金等が高いと言われるが、税金、固定資産税は他と同じ、水道料金にしても加東市よりは若干安い。新婚世帯の家賃補助にしても財源があれば5年、10年としたいが、そんなにゆとりがないので3年になっている。今後議会として有効な施策となるような提案をしていきたい。
- 加西市は交通機関もないし、店が開まるのも早い。若い人はどうしても市外に出て行って、市外に定住してしまう傾向が強いと思う。もう少し他市とつながるインフラ整備、早朝、夜の交通事情を改善できないか。
- 交通弱者いわゆる高齢者の対策は考えてきたが、これからは若者を対象とした交通アクセスも考えていきたい。
- 11小学校の存続ということは市長の公約でもあるが、善防地区においては中学校でさえ近いうちに単学級になってしまう。人口減時代を見据えた対策をとるべき、市の財政も考えて学校の統廃合を考えていきたい。

- 加西市就職ナビには何の魅力もない。若者はあんまり自治体や子供会の活動をしたくないと思っている。若者が魅力を感じるような自治体づくりをしてほしい。
- 市内の大企業の社員にしても、子どもの教育環境を考えると、加古川等他地域に住まざるを得ないというのが現在の状況。
- 若者が市外へ出ていく理由の1つに加西市の消防団の問題があると思います。必要性は認めるものの、消火活動に無用の礼式訓練など拘束時間に不満を持つ若い人がなかなか入ってくれず、団員数維持のため40歳代半ばでも退団できない人がいます。話を聞くと、消防団が嫌で40歳～50歳くらいまで都市部から戻って来ない人もいます。団長や分団長だけでなく、一般団員の意見も聞きながら、消防団のあり方を考える時だと思います。

【5万人都市再生について】

- 頑張っ取り組まれているが、どこの都市を見ても人口が減っている時代にこの目標はあまりにもハードルが高い。現在昼間の人口は増えていて、活気がある。もっと企業を元気にして昼間の人口を増やすべきである。
- 工業団地には他都市から大勢の人が加西市に働いて来ている。そのあたりはさらに力を入れてやっていきたい。
- 人口減、少子高齢化は国レベルの流れであり、人口増を目的・目標とするのは少し疑問に思う。むしろ、本質的に「住みよい町」「誇りの持てる町」を目指して欲しい。

※詳細な内容については、議会ホームページでご覧いただけます。

市議会の新体制が 決まりました

議長に森元清蔵議員、副議長に三宅利弘議員

6月3日に開催された第247回定例会において、議長・副議長をはじめ、監査委員、委員会委員、各種選出委員など、議会の新しい構成が決まりました。

各委員の任期は2年間となっています。また特別委員会が廃止となりました。



議長
森元 清蔵



副議長
三宅 利弘



監査委員
土本 昌幸

議長就任あいさつ

市民の皆様には、平素より市議会に対し深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび、議員各位のご推挙により議長に就任いたしました。身に余る光栄であり、皆さんの気持ちを十分にかみしめながら、これからの議会運営を務めてまいりたいと思います。

さて、これから地方分権の時代に入ります。各地方がみずからの選択と責任において、市政を行っていかねばなりません。それぞれの決定によって、住みやすいまち、住みにくいまちができてきます。

加西市においても、住みよいまちをつくるために、市民、議会、行政がよりよい選択と責任を持って市政に関わっていかねばならないと思います。

私たち市議会は、執行者側が提案したいろんな政策に対して、本当に市民の願いと一致するかどうか、財政が大変な中で有効に使っているかどうか、それぞれ住民の代表として十分な議論を戦わせ、よりよい市民のための市政運営に努めてまいります。

今後とも、皆様方の力強いご支援とご協力をお願い申し上げます。

会派構成

平成25年4月から以下のとおり会派の名称及び構成員が変更されました。

会派名（会派人数）	代表者	会員名
21政会（7名）	幹事長 三宅利弘	長田謙一 森田博美 森元清蔵 織部 徹 衣笠利則 中右憲利
自民の風・誠真会（5名） ※統一会派	幹事長 別府 直	黒田秀一 植田通孝 高橋佐代子 松尾幸宏（誠真会）
日本共産党（1名）	団 長 井上芳弘	
公明党（1名）	幹事長 土本昌幸	
加西の新しい未来を 創る政策研究会（1名）	事務局長 深田真史	

議会運営委員会

(主な所管事項)

議会の運営を能率的に行うために設置され、議会の会期や議案審議の方法などについて協議します。

委員長 森田 博美 副委員長 土本 昌幸
 委員 井上 芳弘 委員 植田 通孝 委員 高橋佐代子
 委員 中右 憲利 委員 三宅 利弘



常任委員会

総務委員会

(主な所管事項)

加西市の将来計画、広報、市役所の組織、職員の人材育成、情報化、防災、市民参画、税金や市の財政、入札、幼保・学校施設等の教育問題など

委員長 井上 芳弘 副委員長 黒田 秀一
 委員 織部 徹 委員 高橋佐代子
 委員 土本 昌幸 委員 中右 憲利
 委員 長田 謙一 委員 三宅 利弘



建設経済厚生委員会

(主な所管事項)

高齢者や身体の不自由な方等への福祉施策、商工業・農業の振興、観光推進、道路や河川改修、住宅や上下水道の整備、環境問題、病院の問題など

委員長 別府 直 副委員長 衣笠 利則
 委員 植田 通孝 委員 深田 真史
 委員 松尾 幸宏 委員 森田 博美
 委員 森元 清蔵



各種選出委員

(五十音順)

名称	定数	委員
国民健康保険運営協議会委員	1	植田 通孝
民生委員推薦会委員	1	織部 徹
都市計画審議会委員	3	中右 憲利 長田 謙一 松尾 幸宏
播磨内陸医務事業組合議会議員	2	黒田 秀一 三宅 利弘
北播磨子ども発達支援センター事務組協議会議員	2	高橋佐代子 深田 真史
北はりま消防組合議会議員	2	衣笠 利則 森元 清蔵

6月定例会（6月3日～6月24日）

提出された主な議案

○議員提出議案第5号 加西市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

本年4月から会派の構成が変更となったことから、委員数を変更する必要が生じたため、その定数を現在の8名から7名に変更するもの。

○議案第36号 加西市子ども・子育て会議条例の制定について

子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）の制定を踏まえ、同法に掲げる事務を処理するとともに、市が実施する児童福祉法その他の子どもに関する法律による施策について調査審議する機関を設置する必要があることから条例を制定するもの。

○議案第37号 平成25年度加西市一般会計補正予算（第2号）について

- ・企画費（地域の夢推進事業補助金を活用して、播磨国風土記1300年記念事業を実施するもの）
- ・生活保護総務費（セーフティネット支援対策等事業費補助金により、生活保護基準改定にかかるシステム改修を行うもの）
- ・予防費（風疹の全国的な流行を受け、妊婦等の感染を防ぐため、予防接種費を助成するもの）
- ・母子衛生費（寄附金を活用して、育児支援のための赤ちゃんステーションを設置するもの）
- ・農業振興費（経営体育成支援事業補助金を活用して、農事組合法人の農機具購入に対し補助を行うもの）
- ・商工振興費（市民の居住環境改善と地域商工業の活性化を図るため、産業活性化支援事業補助金を増額するもの）
- ・道路維持費（地域の夢推進事業補助金を活用して、シンボルロード市道北条1号線の景観舗装等を行うもの）
- ・道路新設改良費（旧下里小学校跡地造成工事にあわせて、アクセス道路として市道笠原2号線の整備を行うもの）

○議案第38号 一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について

国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律（平成24年法律第2号）に準じた給与減額措置の要請に基づき、現行の一般職の職員の給与の特例条例等の趣旨を継承した新たな一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例を制定し、次の減額措置を講じるもの。

①給料月額より、部長・課長級9%、課長補佐・係長級7%、主任・主事級5%の減額。②管理職手当は国に準拠し、10%減額。③適用期間は平成25年7月1日から平成26年3月31日まで

委員会審議

建設経済厚生委員会

○一般会計補正予算（議案第37号）

（主な審議内容）

【予防費】

問 風疹ワクチンの接種助成対象者を広げることでよって、ワクチンが不足することはないのか、また対象者に優先順位をつけて接種を勧めていく予定はあるのか。

答 県やワクチン製造業者に確認したところ、現段階では供給不足について大きな心配はないと聞いています。そのため、特定の対象者に対し優先して接種を勧める予定にはしていません。

【商工振興費】

問 リフォーム工事の総額はどれくらいであったのか、また、助成事業によって工事金額が増えているのか。

答 昨年が44件で7,000万円弱、今年が50件で1億2,300万円と今回の補正予算での追加分で2,900万円ほどとなっています。また、1件あたりの平均工事費が、昨年は160万円であったものが、今年は約250万円と100万円近く増額していることから、ある程度の効果を感じています。

【道路維持費】

問 北条1号線の景観舗装工事について、今後も事業を継続するのか。

答 景観舗装の事業は、北播磨県民局が平成23年度から平成25年度にかけて実施する補助事業であることか

ら、今回で最終となるが、財政当局と協議しながら今後も整備促進を図りたいという思いです。

(議決結果)

全会一致で可決

総務委員会

○加西市子ども・子育て会議条例の制定について(議案第36号)

(主な審議内容)

問 会議の委員はどこに重点を置いて組織し、また会議はどのくらいの頻度で開催するのか。

答 特に就学前児の保護者に重点を置き、全体のバランスを考えながら構成し、教育委員会は委員からの意見を責任をもって受け止める事務局として計画策定に参画していきたい。また、計画の策定は平成26年9月を目標に、最低5回は会議を開催する予定です。

(議決結果)

全会一致で可決

○一般会計補正予算(議案第37号)

(主な審議内容)

【企画費】

問 近隣市の事業実施状況についてはどのようになっているか。

答 県には市町への播磨国風土記の事業補助金が置かれており、加西市と同様に他市も手をあげれば補助金を利用することになります。

問 委託料の運用方法と、会計のチェックについてはどのように考えているか。

答 県との協働で進めていく中で、播磨国風土記ゆかりの地の誘導案内標識等のハード整備や、既存の公共施設等のインフラを活用し、中でも自転車や北条鉄道の利用に啓発、広報費を充てる予定です。また通常のお金管理は事務局で担当し、会計のチェック機能については、監査役に就任していただいている実行委員会に設けたいと考えています。

問 実行委員会はどのように構成されるのか。

答 主に観光まちづくり協会の役員、風土記事業の推進に必要な団体の長に入っただいており、今後下部組織として公募市民で構成するプロジェクトチームを組織し、具体的な詳細部分の意見を吸い上げ、市民参画の形態に発展していけるような形で進めていきたいと考えています。

(議決結果)

全会一致で可決

○一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について(議案第38号)

(主な審議内容)

問 他市の状況についてはどのようになっているか。

答 独自カットや地方分権の理由等により実施していない市もあるようだが、加西市においてはほぼ同額のカットが既にあり、また国の削減基準となるラスパイレス指数(※)が本給で計算されるため、現行の期末手当の削減では正当な評価を受けられないという理由から制度変更を実施するものです。また終了後、平成26年3月31日以降の取り扱いについては、市の財政状況、子育て支援の効果、職員の士気、また議会での意見を参考にしながらその時点で検討したいと考えています。

(※) 国家公務員を100として地方公務員の給与水準を示す指数

(議決結果)

全会一致で可決

討 論

討論とは、議員が表決の前に、議題となっている案件に対し賛成か反対かの自己の意見を表明することです。6月議会では、8名の議員が討論を行いました。

■議案第38号 一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について

【賛成】

○職員の給与を削減しなければ交付税が減額され、現在進んでいる学校施設耐震化、地域活性化事業にも影響が出る。

【反対】

○地方分権における地方の独自性追求を、国が法律にない形で強行するのは、地方自治の根幹にもかかわる問題であり、明確に拒否の意思表示をするべき。

陳情の審議結果

6月定例会では、陳情1件(永田教育長の人権侵害について)が提出され、所管の総務委員会に付託して審議、本会議最終日で採決を行い、以下のとおりの審議経過及び議決結果となりました。

■陳情の内容

永田教育長の人権侵害問題について、放置しないで責任を明確化してほしい。

■付託委員会

総務委員会

■委員会、本会議での討論

(賛成意見)

- ・地域の中であったこと、教育長になる前にあったことかもしれないが、公人となった今、当然議論すべきである。
- ・また一審の判決が出た以上、二審の判決を待たずに教育長は決断すべき。

(反対意見)

- ・教育長の行動は人権教育を行う者として軽率であるが、内規に抵触すると考えられる、係争中の案件について議論するべきではなく、本会議で市長や永田教育長が答弁したように、本人が判断するものである。
- ・送りつけられたとされる文書の前段には、村八分にするというよりは、話し合いの場に出てもらうための要望表現ともとれる記述があり、人権侵害だと結論づけることはできない。実際に差別と思われるようなことがあったかどうかは裁判所において確認された後、公正な判決が出される。それを待って議論するべき。

■議決結果

(委員会)賛成2、反対5で不採択

(本会議)賛成4、反対10で不採択

第247回 加西市定例会議決結果一覧 平成25年6月3日(月)～6月24日(月)

■全会一致で可決、同意、承認した議案

- 議員提出議案第5号 加西市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
 議案第34号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
 議案第35号 損害評価会委員の委嘱につき同意を求めることについて
 議案第36号 加西市子ども・子育て会議条例の制定について
 議案第37号 平成25年度加西市一般会計補正予算(第2号)について
 議案第39号 監査委員の選任につき同意を求めることについて

■賛否の分かれた議案(採決の行われた順に掲載)

○…賛成 ×…反対

議案	松尾幸宏	植田通孝	深田真史	中右憲利	長田謙一	衣笠利則	高橋佐代子	別府直	黒田秀一	井上芳弘	森元清蔵	三宅利弘	織部徹	森田博美	土本昌幸	議決結果
議案第38号 一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長	○	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)
陳情第1号 永田教育長の人権侵害について	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	議長	×	×	×	×	原案不採択 (賛4、反10)

質疑 ● 一般質問

6月11日、12日の本会議では、質疑5名、一般質問12名の議員が発言し、議案や市政全般にわたり活発な質問を行いました。(発言順に掲載)
その他の質問については、議会中継や、会議録検索システム(9月中旬に掲載予定)でご覧いただけます。

- 質疑…市長から提案された議案等の議題となっている案件に対し、不明確な点を問い、案件の提出者等に説明や意見を求めること。(1人当たりの制限時間は40分)
- 一般質問…市長を初めとする執行機関に対し、市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて問うこと。(1人当たりの制限時間は60分)

人口増対策としての玉丘史跡公園の活性化について

一般質問



中右 憲利 議員
(21政会)

問 加西市では今、播磨国風土記1300年事業に取り組んでいるが、これを一過性のものとせず、歴史に関心のある人が大勢集まって、こんな所に住みたいと思う、そういう永続的な文化、雰囲気を加西市に創ってもらいたい。そういう文化の発信源、中心として玉丘史跡公園をぜひ活用すべきと思う。2年後には播磨国風土記関連の大きなイベントを考えているとのことだが、平成28年度には1億円の

寄附金を活用した事業を行うということも聞いている。古代ロマンを感じる新しい加西市の文化を創造するために、ぜひ今からその事業に関する検討も始めてもらいたい。

答 23年度の決算が当初の見込みより5億円ぐらい改善しております。27年度末での基金残高は8億7,000万円ぐらいの予想です。さらに3月補正の段階で4億7,000万円ほどの改善が見込めるという状況の中で、1億円の寄附金の使い道は28年より少し早く決めたいと思っております。玉丘史跡公園への寄附金については、それがしっかり形に現れるという事で、

箱物はいいと思っています。しかし箱物にはランニングコストがかかりますし、職員の配置という事も必要かもしれません。そこはいろんな要素についてしっかりと相談しながら、内部で計画を作って進めたいと思います。方向としては今後少し前倒しで計画を作っていくたいと思っています。

■その他の質問項目

- ・市内基幹道路の整備について
- ・ふるさと創造会議について
- ・加西サイサイまつりについて

特別指定区域の活用、農振農用地の見直しについて **一般質問**



松尾 幸宏 議員
(自民の風・誠真会)

問 新婚・子育て世代の近隣市への移住例が多々見受けられたが、西村市政になり若者世帯の持ち家補助金制度、新婚世帯の家賃補助、中学校3年生までの医療費の無料化、またこれから実施される全中学での給食や各学校のエアコン整備。また、特定不妊治療、未来のパパママを応援する事業、充実した幼児教育、小・中学校での子どもに応じたきめ細やかな学校生活支援により、これからは他市よりも活気を持った加西市創りをし、以前とは逆に他市より転入していただく段階に近づいてきたと感じる。道路が整備され交通の流れがス

ムーズになり、その周辺等に住宅、商業施設等建物が増えていき、他市より人が集まってくる環境を整えていくことが必要となってくる。そこで土地利用の規制緩和である、①県の特別指定区域の活用、②5年に一度の農振農用地の大幅な見直しについてうかがいたい。

答 ①平成19年に市内104地区で地縁者住宅区域の指定を受け、平成24年度末までに128件の建築申請手続がありました。平成24年度には、事業所の拡張区域、地縁者の小規模事業所区域、地縁者住宅の区域拡大の指定を受け、本年度中には商業サービス施設集積地区、流通業の施設集積区域、そして商業施設住居共存区域などを、都市計画マスタープランで位置づけした地区を中心に、新たに目的型特別指定区域として位置づけ、建築制限の緩和による土地活用の促進を考えています。

②今回の農用地区域の変更案は、公会堂用地、農村公園駐車場、農業近代化が困難である山際農地、個人からの除外申請、基礎調査による集落介在型の介在農地、そして法以前からの宅地であり、現況どおりには是正する必要があるものなど、合計68件、面積にして4万2,700平米です。

一方、農用地への編入要望が16筆、2万200平米あるため、差し引き2万2,500平米の除外となっています。

■その他の質問項目

- ・国道372号線バイパス計画について

教育問題について **一般質問**



黒田 秀一 議員
(自民の風・誠真会)

問 永田教育長らの人格権をめぐる問題についてどうとらえているのか。一番の判決が出た以上、速やかに教育長がみずから進退を決断し、責任をとった上で上告するのがよいのではないか。

答 (教育委員長) 本件については、申し入れ文書や隣保内での出来事の実態誤認があり、人権侵害行為ではないという見解から控訴し、現在係争中です。教育長の進退については、業務にかかわる件ではなく、教育委員会が判断すべきことではないため、教育長自身が判断されることであると考えています。

(市長) 大変深刻な事態ではありますが、直ちに教育長に辞職いただく状況にはないと思っています。私は、教育長が責任を問われる事態になれば、責任をとるべきと考えています。そして私は、しかるべき時期にしかるべき方法で責任をとらなければならない状況になると考えていますが、あくまでいますぐと思われるのであれば、任命に対する議案に同意した責任ある議会として、私に対する不信任を可決いただければよいと思います。

問 鉄筋コンクリートの耐用年数は50年から60年だが、49年が経過した泉中学校の耐震工事は10億もかけてすべきものだったのか。教育委員会として審議をし、また地元の方々へ説明はされているのか。

各学校において、工事費用や改築の実施など、対応にばらつきがあり公平性に欠けるのではないかと。また耐用年数が経過していることから補

助金を前倒しにできないか等、国に対しての依頼などはしたか。

答 入札金額は工事内容や社会情勢によって大きく変動し、補助率についても3分の1と決定しているものです。また計画は国の方針にしたがって進めているため、方針決定のための説明会は実施していませんが、耐震補強工事の内容については保護者へ十分に説明しています。

要望 自衛隊の青野ヶ原駐屯地でのトライやる・ウィーク活動について、今年は加西中学校から4名の参加があった。東日本大震災での自衛隊の活躍を受け、自らも続けたい子どもが他にもいるかもしれない。学校と教育委員会で連携し、未参加の中学校へも是非推進していただきたい。

■その他の質問項目

- ・市街地の雨水対策について
- ・狹隘道路について

旧下里小学校跡地及び、周辺整備について

一般質問



長田 謙一 議員
(21政会)

問 旧下里小学校跡地における土地活用について質問いたします。

答 住宅団地の開発を目的とした土地活用を計画しています。市街化調整区域の建築緩和として、地縁者や新規居住者の住宅区域など、特別指定区域制度を活用した区域指定を中心に努めてきたが、今回さらに加西市が施主となり分譲住宅地の開発を目的に、特別指定区域制度を活用したい。特別指定区域制度を活用した分譲住宅地の区域指定は、県下では初めてであります。団地内においては、住宅はもちろん生活に必要な店舗、診

療所などの建設が可能であります。

問 この地域の目指す住宅のあり方について質問いたします。

答 若者世帯にも高齢者にも優しい多くの方が住んでみたいと思う住宅団地の整備を考えています。地元が望まれる住宅団地のあり方についても、地元区長様や役員の方々と協議を行い、希望する面積等アンケートでの意見を参考に、より良い住宅団地の整備を目指していきたい。

問 周辺の環境整備事業について質問いたします。

答 団地内の道路幅員は、6メートルで整備を考えております。また、団地に隣接した外周道路については、幅員6メートルを確保した整備をいたします。住宅団地内の公園については、既存樹木を生かし

た多くの方が集える緑地公園として整備を進めます。また、県道高砂北条線へつながる農協前の市道についても、地権者の協力がいただけるなら、拡幅工事を実施することで計画を進めています。住宅団地の開発とあわせて、認定こども園の建設計画が民間事業で進められることから、住宅団地に子育てファミリーを呼び込むことができると考えています。

■その他の質問項目

- ・職員の休憩時間の自家用車利用について
- ・教育委員会評価結果報告書について

消防団改革について

一般質問



深田 真史 議員
(加西の新しい未来を創る政策研究会)

問 現在の消防団について、団員要件の緩和、団員確保のための市内統一による入団促進、自治会の人口や面積に応じた柔軟な団員定数と部の統合、定数削減による団員報酬の増額など、条例改正を含めて見直してほしい。

答 加西市の消防団員定数は1,482人ですが、実員は今年4月で1,419名と不足しています。退職金や公務災害基金の掛金は定数で負担するため、これを是正し、団員の処遇改善へ回す考えで条例改正を検討しています。団員は市内居住者と定めていますが、一時転出等

は弾力的な運用を図っており、その運用を明確化することも考えています。各部の団員定数は大きく下回る団員しか確保できない部があり、分団が1つの部という中で団員を確保し、今後もその協力を進めていく必要があります。提案を踏まえて、団員の処遇改善、施設整備、団員確保の取り組みを、消防団幹部・地域で進めるよう協議していきたいと考えます。

問 市外に勤務する団員が全体の48%という数字は憂慮すべき。平日の日中に災害が発生した場合、加西市内で約700名の団員しか参集できず、即時対応に疑問。分団・部が自主防災組織や消防団協力事業所等と災害時の役割分担を決めておけば速やかな対処が可能だ。

答 今後、分団単位の活動や自主防災組織との連携が非常に重要となってきます。その支援を厚く

する必要性を認識しており、そのための施策をつくりたいと考えます。消防団協力事業制度の新規登録も進めつつ、企業の防災力の活用も図っていく必要があると考えます。

問 子育て世代や働き盛りの世代が、拘束される時間を少しでも軽減させるために、従来の礼式・操法大会や訓練の見直しを考えてほしい。

答 大会の良い点悪い点を含め、団幹部と検討していく必要があります。時代を見つめた新しい消防団づくりを進言しながら消防団、自治会等と協議していきたいと考えます。

■その他の質問項目

- ・超高齢社会と都市計画
- ・公契約条例の疑問

安全・安心のまちづくりと学校の施設環境保全について 一般質問



衣笠 利則 議員
(21政会)

問 消防団員の活躍により、日夜市民の生命と財産を守っていただいておりますことに感謝しております。現在消防団には団員の確保や昼間に出動できる団員数の減少という大きな課題があります。予防消防活動や救命講習会などに女性消防団員を取り入れることについて当市の考えをお聞かせいただきたい。

答 小野、三木市においては女性消防団員が防火広報や消防行事の司会等を中心に、親しまれる消防

活動として活躍されていると聞いています。当市での導入については、今後女性団員の意見をお聞きしながら検討していきたいと考えています。

問 学校環境整備について、会員数が減少しているPTAによる活動や先生方の草刈りだけでは不十分ではないのか。子どもたちが安全にのびのびと、勉強や運動ができる環境の良い学び舎こそ、地域の方が望んでおられるものである。地域の方が中心となり学校の維持管理を行っていくことで、校区単位のふるさと創造会議においても良いスタートになればと思うがいかがか。

答 小・中学校の環境保全については、教職員を中心に活動してい

ますが、生徒数が減少してきたことから、教職員数、保護者数ともども減少しており、負担がふえているのが現状です。そのため事前に作業範囲や内容の検討、打ち合わせを行い計画的に実施していますが、加西市は自然に囲まれている分、多くの手を入れなければならないのも事実です。実際の環境整備においては、ワッシュイスクールの方々、PTAのOB会等で構成されるおやじ会など、地域の方々のお力添えによるところが大きく、教育は家庭と地域と学校とが一体になって行うものだという視点からしますと、地域ぐるみで子どもを育てる環境を整備していくことが大切であり、学校支援地域本部事業の充実に取り組んでいきたいと考えています。

地域経済の活性化について 一般質問



井上 芳弘 議員
(日本共産党)

問 三木市で商工業の振興条例ができました。また全体の事業を進めていくに当たって、住宅リフォーム(助成)制度もはじめましたし、公契約条例も平成26年の4月制定を目指して取り組むという方向性も打ち出している。

改めて今、アベノミクスといわれる中で、何か景気がよくなるような雰囲気があるが実態は厳しいと思う。それに対して具体的にどういう手立てをとろうとされているのか、お尋ねをしたい。

答 加西市商工会議所が会員を対象に、4半期ごとに加西市景気動向調査を実施されている。平成25年1月から3月間の市内企業の状況につきましては、売上の停滞、減少だけにとどまらず、原材料が急激に高くなっていることを経営上の問題として捉えている企業が大幅に増えているのが現状です。

問 加西市は三洋電機の発祥地として、下請けを含めた金属加工等の非常に多い地域だった。技術の継承が途絶えかけようとしている状況の中で、いま地域の力を調査をして、連携をはかり再構築する最後の段階だと思うが。

答 商工会議所の方も加西の企業の魅力は物づくりであるということを中心に打ち出されていま

すが、後継者の問題など市全体として商工会議所とどのようにタイアップしていくか、まだ明確な方向性が出されていない状況であると思います。ご指摘のような形での取り組み強化を、基本的には商工業、農業の振興条例も視野に入れた上で検討していきたい。

■その他の質問項目

- ・財政について
- ・原発事故対策について
- ・生活保護について
- ・県道の安全確保対策について
- ・人権について

人口増施策について

一般質問



高橋佐代子 議員
(自民の風・誠真会)

問 加西市人口は市長の思いをよそに減り続けているが、減少数とその分析結果は。また人口増施策に対する費用対効果の検証についてはどうか。

答 人口減少は依然として続いており、主な原因として、転入者の減少による転出超過と自然動態による減少があります。24年度までの2年間で人口は約1,060名減少していますが、市長就任以前と比較すると減少カーブが鈍化しており、施策の一定の効果がかがえます。また今後長期的な検証をあわせて行うことで、施策

が人口増に寄与しているかを判断していく必要があります。

問 ①賃貸アパート、マンション建設の補助制度について、固定資産、都市計画税の軽減額はどのようになっているか。②住宅建築等のために土地を売却した方への補助制度について、想定している補助金額、また課題とその対応策は。③制度を利用した新築マンションへの転入者数はどの程度見込んでいるか。また転入者への家賃補助制度を検討すべきでは。④中古物件についてのリフォーム補助などは考えているか。

答 ①平成24年度は15棟のアパートが新たに建築され、その固定資産、都市計画税額は、新築軽減後で約500万円、以降同様の建築戸数と仮定すると、5年間の総額は8,100万円となります。②3年間で約600万円の補助総額を見込

んでいます。現時点では問題や課題はないと認識していますが、制度が有効に活用されているか検証しながら進めていきたいと考えています。③最大150世帯の受入れが可能となります。また転入者の多くが市内企業で就労していることから、転入者への支援と市内企業に対する支援施策をあわせて検討していきたいと考えています。④今後古いアパート等をリフォームし、既存の建物を有効活用して戸数を確保できるような支援施策も検討していきたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・人権学習のあり方について
- ・受動喫煙の防止等について

耐震について

一般質問



別府 直 議員
(自民の風・誠真会)

問 木造校舎といわれていた西在田小学校の地震対策工事設計業務委託について、耐震改築工事を行い、規模は小さくなるが、新たに建てかえる計画であるとの説明を以前から受けている。現在、計画の進捗はどのようになっているか。

答 平成23年11月16日に西在田小学校において、木造校舎と鉄筋コンクリート校舎とを含めた耐震化計画の説明会を行いました。

その時点では、木造校舎は取り壊して鉄筋コンクリート造に改築をし、既存の鉄筋コンクリート校舎については耐震補強と大規模改修をあわせて行う計画で、説明し理解を得ていましたが、その後地元から全面移転改築の意見が出てきました。

また同時に、現在校舎が残っている場所が土石流等による土砂災害警戒区域に含まれていると判明し、避難所となる校舎が警戒区域内にあるのは不都合であるため、当初の計画を変更し、現在体育館のある県道より南側の敷地に移転改築を行う方針で検討していると

しかしながら改築工事となると、現時点の児童数によって床面積が

決まるため、建てかえをすることで、ざっとした計算でも27%程度と、かなり校舎の面積が少なくなります。このような条件もあわせて配置計画及び計画面積等について、7月上旬に西在田小学校での地元説明会を行い、その結果をもとに、特にいま子どもたちを持っておられる世代の方々の意見を最優先に、平成26年度に設計を実施したいと考えています。

■その他の質問項目

- ・通学路の安全対策
- ・有害鳥獣駆除
- ・泉第三保育所について
- ・加西市の情報発信について

五百羅漢石仏について



植田 通孝 議員
(自民の風・誠真会)

問 悠久の時の流れに思いを馳せて、心温まる郷愁に耽ることが出来る空間こそ、「ふるさと」と呼ぶに相応しい。数百年もの長きに亘り、変わることのない笑みを湛えてひっそりと佇む五百羅漢の石仏群は、心のふるさとそのものであると思うのであるが、ここ数年訪れる人が少なくなって管理業務に支障を来すようになってきた。フラワーセンターと同様、拝観者が全盛期の3分の1まで落ち込み、保存会では一昨年より観光担当職員を交え話し合いを重ね、集客につながる各種イベントの開催や管理費の削減に努力している。先週

から、車いすの高齢者や障がい者の皆さんが安心して拝観できるバリアフリーの園内通路の整備を始めている。手弁当で参加した皆さんは、第一線をリタイアされた方がほとんどであるが、特殊技能集団そのもので、作業もてきぱきと気持ちが良い。五百羅漢のリニューアルのため、次は風化の激しい石仏の修復や伸び放題の庭樹の剪定、公衆便所のバリアフリー化、紫陽花とツツジ園の整備、ミニギャラリーの整備、案内看板のリニューアル等々を企画している。拝観料が潤沢であれば保存会の独自予算で実施できるが、現状の厳しい状況下では、資材費の捻出が大変である。皆さんは、郷土の宝五百羅漢石仏群に観光の拠点として再度「光り」を当てたいと、心底願っておられる。そこで、環境整備の必要性について、お尋ねしたい。

一般質問

答 石仏の保存はもとより魅力ある観光施設として継続的な環境整備と拝観者増の取組が必要と考えています。拝観者に人気のある北条小学生ガイド隊やボランティアガイドは、誘客効果を生んでいます。保存会の方々も活性化と拝観料の確保に向け集客活動への取組を始められています。市にとって五百羅漢石仏群は市を代表する観光のランドマーク的存在でありますので、引き続き保存会の活動を支援してまいります。

■その他の質問項目

- ・教育長に関することについて



安全・安心の街づくりについて



土本 昌幸 議員
(公明党)

問 災害発生時には、イオンやJAと連携するための協定を結んでいたと思うが、災害に備えた備蓄品の確保について当市の状況はどうか。

答 加西市では、県の発表によると1万2,000人余りの避難者が想定される、山崎断層の地震被害を中心に防災計画を立てています。現実のところ加西市で保管している防災備品は、毛布610枚、簡易トイレ4万枚、ブルーシート750枚、備蓄食料2,200食、ペットボトル1,500本余りとまだまだ不足している状況です。その中で飲料水に

ついては、スパーク加西の貯水槽に100㍓、これで1人1日3リットルとして想定避難者数の3日分は確保されることとなり、また明神山配水池、寺山配水池分を合わせると、飲料水については防災計画で確保できている状況です。

また、防災計画では各家庭に3日分の食料備蓄をお願いしています。市の方でも2日分の備蓄を計画していますが、想定避難者数の3食2日分、3万6,000食については、保管場所、また経費の関係から市の施設で備蓄することは難しく、JAまた商工会議所をはじめ、市内大型3事業者と協定を交わし、流通備蓄の形で確保する方針をとっています。

問 校区ごとに分割して新しく作成され、大変有益な情報が書かれている防災マップだが、各家庭で常に参照できる形で保管するには大きすぎたりと、しっかりと活

一般質問

用するには改善の余地があるのではないかと。

答 防災マップは、作成の過程で各町の状況を聞かせていただくことが、防災への関心を高めるといった一つのねらいでもありましたが、作成したよいものも有効活用されなければ効果が薄れてしまうため、防災訓練などの折りにふれ見返していただけるよう啓発していく予定です。

■その他の質問項目

- ・市長の政治姿勢について

給食未実施中学校の給食受入れ体制について 一般質問



織部 徹 議員
(21政会)

問 新給食センターが建設されることとなり、いままで給食がなかった給食未実施中学校の受け入れ態勢についてお聞きしたい。まず、給食搬入受け入れ場所はどこになるのか。

答 北条中は正面玄関の北側スロープより搬入し、玄関ホール北側の部屋を受け入れ場所に、泉中は校舎の裏側を通過して校舎東側階段室を改修し受け入れ場所に、善防中は西側渡り廊下を改修して搬入受け入れ場所とします。泉中と善防中の改修は耐震補強工事と同時に行い、平成25年12月に完成予定です。

問 善防中の校門から受け入れ場所までは、来客者が来られるくらいで、生徒たちの活動する場所ではないと思うが、泉中は運動場から校舎の裏にかけて、長い距離を道路がでこぼこ入り組んでおり、朝には陸上の生徒が走っている。朝の牛乳の運搬車が通ることはすでに生徒もよく知っているが、今後は昼前に給食搬入車が入ってくる。安全対策は何か考えているか。

答 各校に入る給食車両は、牛乳の運搬車が大体8時ごろ、それから米飯運搬車が12時ごろ、そして副食運搬車が11時ごろと1時ごろと、延べ4台となっており、校内では速度を十分に落として交通安全に努めたいと考えています。

問 いざ給食実施となれば食物アレルギーへの対応が必要となる。十分に注意し、すばらしい学

校給食を実施していただきたいと願っている。そこでアレルギー対応策についてお聞きしたい。

答 生徒のアレルギーについては、中学校入学時に小学校との引き継ぎで養護教諭が把握をしており、各家庭への調査を実施し、アレルギーの症状について確認している。アレルギーを持つ生徒の保護者には事前に給食の献立表を配布したうえで、一部除去が弁当対応かについて、保護者、学級担任、養護教諭、栄養教諭にて協議をした上で決定をしたい。また、一部除去を行うときには、学級担任が確認し安全管理に努めたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・通学路整備について

H25年度 行政視察受入実績

平成25年度の加西市への他自治体からの視察は、4月以降合計4件となっています。今後予定されている視察(7件)を含め、そのほとんどが加西市議会の議会改革の取り組みに関するものとなっており、前年度に引き続き、取り組みへの注目の高さがうかがえます。

なかでも、一問一答方式、反問権、インターネット中継による情報公開、また議会報告会について多く質問がなされています。



岐阜県関市(7月23日)

日程	市議会(委員会)	人数	視察内容
平成25年5月14日	愛媛県大洲市議会 (議会改革調査特別委員会)	9	議会改革の取り組みと現状について ・議会基本条例に基づいた取り組みについて ・一問一答方式について
平成25年5月16日	長野県安曇野市議会 (総務委員会)	10	議会基本条例に基づく政策等の形成過程について
平成25年5月23日	石川県七尾市議会 (総務企画常任委員会)	8	北条鉄道と住民の連携によるまちづくりについて
平成25年7月23日	岐阜県関市議会 (議会運営委員会)	11	議会改革の取り組みについて ・議会改革度7位(日経グローバル)への取り組み ・加西市議会だより ・議会報告会 ・アンケート調査 ほか

市議会トピックス

■平成24年度 政務調査費収支報告

議員の調査研究に資するために必要な経費の一部として、議員1人当たり年額10万円を会派に対し政務調査費として交付しています（不用額は年度末に返還）。平成24年度の収支報告について、以下のとおりお知らせします。

なお、政務調査費実施報告書、調査研究実施報告書等の資料を、市役所1階総合案内横の専用カウンターで常時公開しています。

(単位：円)

会派	交付額	支出決定額	戻入額	執行率	支出内容					
					研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費
21政会(9人)	900,000	688,860	211,140	76.54 %	18,000	670,860	0	0	0	0
新政会(2人)	200,000	198,111	1,889	99.06 %	4,000	194,111	0	0	0	0
清風会・誠真会(2人)	200,000	163,516	36,484	81.76 %	4,000	159,516	0	0	0	0
公明党(1人)	100,000	2,000	98,000	2.00 %	2,000	0	0	0	0	0
日本共産党(1人)	未申請	0	0	0.00 %	0	0	0	0	0	0
合計	1,400,000	1,052,487	347,513	75.18 %	28,000	1,024,487	0	0	0	0

※平成25年3月までの会派です。

※法改正により、政務調査費から政務活動費に名称が変更となりました。

■閉会中の委員会の開催日程

総務委員会を8月12日(月)に、建設経済厚生委員会を8月19日(月)に開催します(いずれも午前10時～)。ぜひ、傍聴やインターネット中継で審議の様子をご覧ください。

■平成25年(9月)加西市議会定例会の日程

月日	曜日	時間	会議
9月3日	火	9:00	議会運営委員会
		9:40	議員協議会
		10:00	本会議(提案説明等)
9月5日	木	15:00	発言通告期限(一般質問)
9月6日	金	15:00	発言通告期限(質疑)
9月11日	水	9:20	議会運営委員会
		9:40	議員協議会
		10:00	本会議(質疑・一般質問)
9月12日	木	9:20	議会運営委員会
		9:40	議員協議会
		10:00	本会議(質疑・一般質問)
9月13日	金	10:00	本会議(予備日)
9月17日	火	9:00	総務委員会
9月18日	水	9:00	建設経済厚生委員会
9月19日	木	9:00	常任委員会(予備日)
9月26日	木	9:20	議会運営委員会
		9:40	議員協議会
		10:00	本会議(最終日、委員長報告・採決)

ようこそ市議会のホームページへ

加西市議会

検索

本会議・委員会の日程をはじめ、一般質問の通告内容や発言順も掲載しています。
またインターネットによる議会中継(生中継・録画中継)もご覧いただけます。
ぜひ一度ホームページをご覧になって関心のある本会議や委員会を傍聴してみてください。

※日程は変更になる場合があります。傍聴を希望される場合は、議会事務局(TEL42-8790)でご確認ください。本会議の傍聴は市役所議会棟4階でできます。
※質疑・一般質問の内容や発言順序は、9月6日(金)に加西市議会のHPに掲載予定です。



議会だより編集委員会

委員長 長田 謙一
委員 井上 芳弘
委員 高橋佐代子
副委員長 深田 真史
委員 織部 徹
委員 別府 直

発行／加西市議会
編集／議会だより編集委員会
〒675-2395 加西市北条町横尾1000
TEL／0790-42-8790 FAX／0790-43-1810
email／gikai@city.kasai.lg.jp